

# 鳥取港振興会 ニュース

港湾だより71号

(平成31年3月発行)



鳥取港全景

## INDEX

- 平成30年(2018年)鳥取港取扱貨物量
- 平成31年度鳥取県予算(鳥取港関係)
- 鳥取港長期構想検討委員会
- 他港視察(和歌山下津港・日高港)
- クルーズ客船「にっぽん丸」勉強会
- 山陰近畿自動車道整備推進決起大会
- 外国クルーズ客船の誘致へ向けて
- ツインポートイベント開催

発行：鳥取港振興会

## 平成30年(2018年)鳥取港港湾統計年報 【速報値】

平成30年の鳥取港の取扱貨物量は、639,781トンで、前年と比べて166,986トンの減(前年比20.7%減)となりました。取扱貨物量が70万トンを下回ったのは、平成26年以来、4年ぶりとなります。

内貿(移出入)貨物では、砂利・砂(前年比20.3%減)、石灰石(前年比30.3%減)、セメント(前年比16.4%減)等の移入が減少しており、内貿(移出入)貨物全体で586,077トンと、前年と比べて173,264トンの減(前年比22.8%減)となりました。

一方、外貿(輸出入)貨物は、3年連続の増加で、特に凍結防止剤・融雪剤の輸入が19,521トン(前年比52.5%増)となりました。また、平成28年から輸入が開始された木質バイオマスボイラー用燃料のPKS(パームヤシ殻)は26,773トン(前年比1.3%増)、平成27年から輸出が開始された原木は7,410トン(前年比9.7%減)でした。

(単位：トン)

	26年	27年	28年	29年	30年
全体取扱貨物量	684,222	723,797	716,539	806,767	639,781

### ■項目別取扱貨物量

(単位：トン)

内 貿					外 貿				
	品種別	28年	29年	30年		品種別	28年	29年	30年
移 出	石材	—	14,081	5,290	輸 出	原木	9,063	8,202	7,410
	水	3,510	3,385	2,767		—	—	—	—
	その他製造工業品 (人工漁礁)	864	480	3,829		—	—	—	—
	重油	1,606	1,356	1,266		—	—	—	—
	その他品種	26	32	27		—	—	—	—
	移出計	6,006	19,334	13,179		輸出計	9,063	8,202	7,410
移 入	砂利・砂 (うち製鋼スラグ)	402,760 (305,940)	410,183 (308,763)	326,913 (254,623)	輸 入	動植物性製造飼肥料 (PKS)	26,168	26,424	26,773
	石灰石	162,870	205,530	143,310		化学薬品(凍結 防止剤)	8,850	12,800	19,521
	セメント	70,100	80,790	67,537		—	—	—	—
	石材	—	15,747	7,010		—	—	—	—
	重油	27,803	24,985	26,109		—	—	—	—
	その他品種	2,919	2,772	2,019		—	—	—	—
	移入計	666,452	740,007	572,898		輸入計	35,018	39,224	46,294
移出入計	672,458	759,341	586,077	輸出入計	44,081	47,426	53,704		

## 平成31年度鳥取県予算(鳥取港関係)

鳥取港では、度々、港内静穏度不足や航路埋そく(水深不足)等により企業活動に支障が生じています。鳥取港が物流・人流の拠点として、また地域経済を支える港として活用されるため、前年度から引き続き、これらの課題解決に向けた技術的検討と港湾計画改定を見据えた長期構想の策定が行われます。(H30~H31の2か年での実施)

また、当面の静穏度向上、漂流物対策として越波等が確認された防波堤の嵩上げが行われます。



(単位：千円)

事業名	H31予算	概要
鳥取港利用促進事業	95,665	長期構想策定及び抜本的対策の検討等
防災・安全交付金(港湾)	29,000	鳥取港第2・第8防波堤改良(上部工嵩上げ)

※長期構想とは

概ね20～30年先の長期的視野に立った総合的な港湾空間の形成とそのあり方を構想・ビジョンとしてとりまとめたもの。

※港湾計画とは

通常10～15年程度の将来を目標年次として、必要とされる港湾施設の規模及び配置、港湾の環境整備等について定める基本的な計画。この計画に基づき施設整備、保全、利用等を行われる。



## 鳥取港長期構想検討委員会

鳥取港では、航路埋そくや静穏度（せいおんど）不足などの問題を解決し、船舶の大型化や取扱貨物及び周辺環境の変化に対応し、周辺を更なる賑わいのあるエリアとするための港湾整備に向け、20～30年先の将来の姿を構想としてとりまとめる長期構想の策定に取り組んでいます。

11月28日（水）に学識経験者、物流・地元関係者、行政機関で構成する長期構想検討委員会（委員長 須野原 豊 日本港湾協会理事長 委員12名）を発足させ、第1回委員会を開催し、各委員から物流や人流について構想策定に向けた意見を伺いました。

6月頃に第2回委員会を開催、夏頃にパブリックコメントをおこない、今年中に長期構想を策定する予定です。



第1回鳥取港長期構想検討委員会の様子

## 他港視察（和歌山下津港・日高港）

他港の取り組みを参考にしようと、11月8日（木）に和歌山県和歌山下津港、翌日9日（金）に日高港を視察し、鳥取港振興会員、事務局職員8名が参加、港湾の現状と、物流、クルーズの状況など、参考となるお話を伺いました。

### ■和歌山下津港

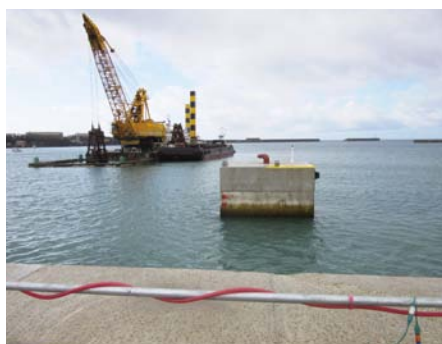
和歌山下津港の本港区は、旧和歌山港の発祥の地で、古くから和歌山の流通の顔として活躍しており、国際拠点港湾に指定されています。



和歌山下津港での視察調査の様子

### ■日高港

日高港は、「日高港みなと振興計画」に沿って、港湾緑地、親水公園の整備、岸壁の改良などを通じて、快適で魅力あるみなと空間を創造し、地域の住民や港を訪れる人々の憩いの場、交流の場となっています。また、港湾施設の整備を通じて、クルーズ客船の誘致も積極的に行っているようです。



日高港での視察調査の様子

## クルーズ客船「にっぽん丸」勉強会

12月19日(水)～20日(木)、「鳥取港へクルーズ客船を呼び込もう!」と鳥取港周辺の寄港地観光の担当者などを対象に、「クルーズ客船勉強会」を開催しました。

当日は、「にっぽん丸」を所有する商船三井客船(株)営業グループの小林雅課長を招請し、クルーズについて、講演いただき、その後、各自治体の観光担当者、観光施設の担当者などが、寄港地観光のプレゼンテーションを行いました。

### ■「にっぽん丸」勉強会

小林課長からは、「にっぽん丸」について、クルーズ客船の魅力のお話、観光担当者、観光施設の担当者からは、「にっぽん丸」の寄港を想定しての寄港地観光プレゼンテーションをおこないました。



「にっぽん丸」	
全長	166.65m
全幅	24.00m
総トン数	22,472トン
総乗客定員	398名
客室数	202室

### ■観光施設を訪問調査

「にっぽん丸」が寄港した場合の観光地候補先として、「海と大地の自然館」「鳥取砂丘ビジターセンター」「山陰松島遊覧船の乗り場」などを訪問し、観光施設の担当者から説明を受けました。



海と大地の自然館



鳥取砂丘ビジターセンター



山陰松島遊覧船

## 山陰近畿自動車道整備推進決起大会

11月13日(火)に、東京都内の衆議院第一議員会館において、「山陰近畿自動車道整備推進決起大会」が開催され、鳥取市と京都府宮津市を結ぶ120kmの高規格道路の早期完成を目指し、鳥取県、兵庫県、京都府で構成された協議会と国会議員による議員連盟が一堂に集まりました。

国会議員連盟の石破茂会長は、「いかにして地方に雇用と所得を作るかということにおいて、この道路ほど急ぐものはないと思っている。遅れたところほど早く整備するべきで、地方の負担は少なくあってしかるべき。」と強く発言されました。3府県の知事から国会議員連盟の石破会長へ要望書が手渡された後、早期完成に向けて意見発表が行われ、最後に参加者全員が「がんばろう」を三唱して決起大会を締めくくりました。



山陰近畿自動車道整備推進決起大会の様子



# ～外国クルーズ客船の誘致へ向けて～ 「シルバースー・クルーズ社」を鳥取港へ招請

2月22日(金)～23日(土)、鳥取港へ入港可能な、総トン数1万トン規模の探検船「シルバー・エクスプローラー」を所有する、「シルバースー・クルーズ社」の日本・韓国支社長の糸川雄介氏と、クルーズ業界に精通し、平成11年と22年に鳥取港へ寄港した「ふじ丸」の(元)日本チャータークルーズ(株)営業部長の松本平八郎氏を鳥取港へ招請し、外国クルーズ客船の勉強会、鳥取市長との面談や、鳥取港・周辺観光地の視察調査を行いました。



## 「シルバー・エクスプローラー」

全長	107.9m
全幅	15.8m
総トン数	6,130トン
乗客定員	144名

## 「シルバースー・クルーズ社」

本社はイタリア。  
ラグジュアリーなクルーズ客船を9隻所有、さらに新しく5隻を造船し、2020年の就航を目指している。



鳥取港視察の様子

(写真中央が糸川支社長、写真左が松本氏)



鳥取市長面談の様子

## ■「外国クルーズ客船」勉強会

糸川支社長からは、「シルバースー・クルーズ社について」、松本氏からは、「クルーズの魅力」について講演していただき、観光担当者、観光施設の担当者からは、「外国クルーズ客船」向けの寄港地観光プレゼンテーションが行われました。



## ■観光地視察調査

「シルバースー・クルーズ社」のクルーズ客船が寄港した場合の観光地候補先として、「城下町鹿野地区」「倉吉白壁土蔵群」「鳥取砂丘ビジターセンター」「岩美町立渚交流館」などを訪問し、施設の担当者から説明を受けました。



城下町鹿野地区



倉吉白壁土蔵群



ジオパークエリア(東浜海岸)

## ツインポートイベント開催

3月9日(土)～10日(日)、「米と肉フェア2019」と鳥取砂丘コナン空港とのツインポート 連携イベントが開催されました。

これは、鳥取港と鳥取砂丘コナン空港を結ぶ「かっこ空港ロード」の開通1周年を記念して開催されたもので、好天にも恵まれ、2日間で3,500人を超えるお客さんが来場されました。

鳥取県産のお米「きぬむすめ」は、2018年産の米の食味ランキング(日本穀物検定協会)で、特Aに輝き、鳥取県産牛は、平成29年秋に開催された第11回全国和牛共進会において、第7区で日本一に輝くなど、日本のトップレベルの「食」と「農」盛りだくさんのイベントメニューを来場者は楽しんでいました。

会場となった、地場産プラザ「わったいな」、「鳥取砂丘コナン空港」では、オリジナルのおにぎりづくりや、お手軽ランチ教室を開催、新しい品種のお米「星空舞(ほしぞらまい)」、「きぬむすめ」、GI登録された「大山ブロッコリー」の試食販売やパネル展示も行われました。



「お手軽ランチ教室」の様子



「コナンコーナー」に並んだグッズ



「大山ブロッコリー」展示パネル



「星空舞(ほしぞらまい)」の試食コーナー

**JCG** 密輸(薬物・銃器)・密航

何か  
おかしいな  
感じたら  
**118番**  
海上保安庁  
緊急電話番号

**水際防止**

118番は海上保安庁緊急電話番号です。

### 編集後記

今年の冬の鳥取港は、大雨や台風にも悩まされた夏と違い、大雪、波浪などによる災害がなく、暖かい日が続きました。

平成31年度は、鳥取港の長期構想が策定される予定です。鳥取港の将来の魅力ある港づくりに向けて、鳥取港振興会員の皆さま、地域の皆さま、港を利用される皆さまの、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(久野)



「安全・安心な社会を目指して」  
**密輸情報** の提供にご協力ください!



密輸ダイヤル (24時間受付)

**0120-461-961**

(携帯からも利用できます)

神戸税関 境税関支署 鳥取監視署

**0857-25-1115**



## 鳥取港振興会事務局

〒680-8570

鳥取市東町1丁目220番地(県本庁舎5階)

TEL(0857)22-1836 / FAX(0857)22-1848

E-mail: tottoripor@tea.ocn.ne.jp